

平成26年6月15日

台形テーブルの製作

乙部町立明和小学校

教頭 佐々木 朗

1 はじめに

本校の図書室は図書コーナーという形で、2階の日当たりのいい一角にある。今回、本を読むペースをたたみを敷いてジュータンを敷き、そこに座りながら、子どもたちに本に親しんでもらおうということになった。

それに伴い、小さな座卓をと思い思案していた。以前勤めていた大野小学校に台形型のテーブルがあったことを思い出した。このテーブルは単独でも使えるし、一直線にもできるし。また、六角形にもできるという利点があるので、実現しようと考えた。ちなみにネットで価格を見ると1台3万円近くもある。

となると、DIYということで、天板もコンパネといういささか貧弱ではあるが、ローコストで製作に取り組んだ。

2 材料と道具

(1)材料

①コンパネ 3枚 1800mm×900mm×10mm 1枚約1200円

②たるき 3600mm×45mm×45mm 3本 1本 約300円

③木ねじ 41mm 72本 70mm×24本

④油性ニス

(2)道具

①丸のこ

②電気かんな

③グラインダー

④電動サンダー

⑤電動ドライバー

⑥電動ジグソー

④、⑤、⑥は1台三役のブラックアンドデッカーのマルチツールEVO183が便利です。DIYが好きな方はぜひ一セット持っておきたい道具です。約18000円



⑦ドリルの刃 各種

⑧メジャー

⑨ハケ

3 作り方

(1)天板

設計図の通り、台形を6枚作る。コンパネを1枚半使う。この設計で、角度が60度

と 120 度になり、6 個を合わせると円形になる。

また、それぞれの角は、かんなでだいたいの角を落とした後、6 枚まとめて、グラインダーで整え、最後にサンダーをかけてなめらかにする。

表面や辺のサンダーを丁寧にかける。

(2)脚

脚の高さは 30 cm とします。デザイン性と、軽量化から中をくり抜いた。これはジグソーを使う。ジグソーがなければそのままでもかまいません。



脚を補強し、天板に留めるため、40 cm と 45 cm のビスを脚につる。それを、天板にビスで固定します。ビスの長さを考えながら、天板に突きでないようにする。



天板へは 4 本のビスで固定しました。



置いてみて、がたつきがあるようなら、サンダーで調整する。



6 つ並べてみるとこんな感じになる。

設計から材料買い出し、作業で、丸一日かかった。

(3)ニス塗り

ニスは、天板のみ複数回塗った。ちょっと色が濃すぎたのが失敗だった。



乾いたら、もう一度塗るというのを繰り返す。

4 作ってみたいの反省

一番の失敗は、ニス塗り。塗装については、素人そのものになってしまったので、今後は、木目を生かした薄い色を選択すること（日用品センターには、薄い色が一缶しかなく諦めてしまった）、塗り方技術の習得などが反省材料となった。

また、安価に仕上げるため、天板をコンパネにしたが、ザラザラ感は否めない。化粧ベニアを貼るとか（しのりの問題などが

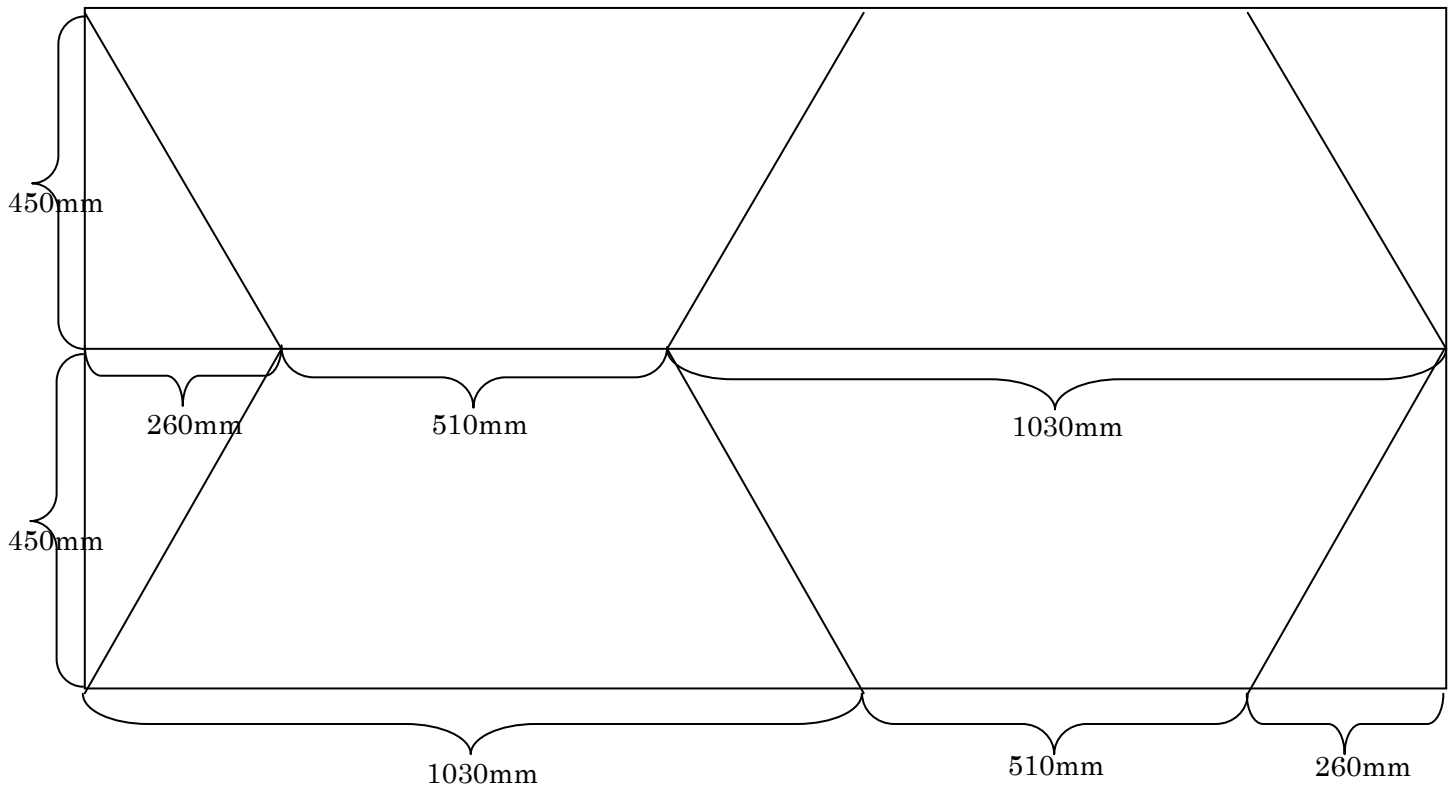
発生することも考えられる）、表面加工された合板を使うかなど工夫していくことが課題である。

テーブルの上で、文字を書くのはこのままではゆるくないので、ビニールをかぶせるとか、工夫しながら、活用をしていきたい。

D I Yの楽しさを味わえたと共に、まだまだ、自分の技術の未熟さを味わった作品であった。



厚さ 10mm



厚さ 10mm

